みんながいたから、ここまでこれた。そして、これからも。

娘の誕生を待つ中、急用で病院を離れ、戻った時にはすでに生まれていました。そんな娘も今では医学部6年生。「パパが会社や医療業界のことを話してくれたからもあるよ、医者になろうと思ったのはさ」。とてもうれしい言葉であり、そんなきっかけをくれた会社に感謝しています。　（メディスケット）

いつも輸送試験などに
前向きに対応してくれる物流センターの皆さん。
「次は何をしたらいい？」
と先回りして声をかけてくださる、
その温かい姿勢にいつも支えられています。
心から感謝しています！
（SPLine）

病院から
「急患の点滴が朝までもたない」と
緊急連絡を受け、遠方の物流センターへ走り、
病院へ点滴を届けました。
後日、患者さんがそのことを知り
涙を流して喜ばれたと聞き、
命をつなぐ仕事に携われること、
医療現場との絆に
心から感謝しました。
（アトル）

「安定出荷に尽力いただきありがとうございます。滞りなく診療活動が行えました」という動物病院からの言葉に、私たちの仕事が動物たちの医療を支えていると実感。「命を守る現場を止めない」という思いを胸に、これからも安定供給に努めます。　（シグニ）



赤い毛糸（あかいけいと）を　たどっていくと、
メディパルグループを　かこむ
あたたかいきもちに　であえたよ

研究試験の準備に追われていた時、
「これどうぞ」とお菓子をくれた。
その温かい気持ちがうれしく、
「まだまだがんばるぞ」
という気持ちになりました！
（フローラディスカバリー）

病院や薬局と状況を確認しながら
薬剤をお届けする中で、
「患者さんから感謝の声が届いたのは、
対応してくれたおかげ」
という言葉をいただきました。
その言葉が仕事のやりがいに
つながっています。
（メディセオ）

地震や大雨など、
自然災害が相次ぐ中でも
メディパルの流通は止まりません。
高度な物流機能と、それを支える「人」の力。
第一線で使命感をもって活動する皆さんに、
心から感謝しています。
（メディパルホールディングス）

いつも気軽に話しかけ、1on1でも現場の悩みや課題に
親身になって答えてくれる社長に感謝しています。
私も支えられる存在となり、会社の成長に貢献していきます！
（プリメディカ）

家族の皆が
元気に笑って過ごしてくれることが、
私の一番の原動力です。
いつもありがとう。
（アステック）

「明日のオペで使うから用意して」
と急な機器の手配依頼。
何とか、間に合わせることができ、
手術を終えた先生が遠くから私を見つけ
「ありがとう、助かったよ」と一言。
今でも忘れられない光景です。
（MMコーポレーション）

誰も経験したことのない、
イチから企業を作り上げる取り組みに挑戦。
数々の難問を皆の力で乗り越え、
一緒に成長してこれたことに感謝です。
（プレサスキューブ）

産休・育休明け、不安を抱えながらの復帰。
「おかえり」「待ってたよ」「久しぶりに声を聞けて元気が出ました」
という温かい言葉をいただき、
「また頑張ろう」と目頭が熱くなったことを
今でも覚えています。
（東七）

商品をお得意様へ届けるまでには、
営業だけでなくメーカーや物流など、多くの方の支えがあります。
急な変更や調整も、困った時は「お互い様」の気持ちで支え合ってきました。
日々の仕事を支えてくれる皆さんに、
改めて「ありがとう」と伝えたいです。
（PALTAC）

グループ会社との連携で、
専門的な業務に心が折れそうな時、
親切に教え「頑張ってください」と
励ましてくれる方々や、
いつも気にかけてくれる同僚に支えられています。
その優しさに、もう少し頑張ってみようと思えます。
（エム・アイ・シー）

医薬品の配送業務をしていた頃、患者さんから
「あなたたちが薬を届けてくれるから、
病院でちゃんと薬がもらえるんだ。ありがとう」と
声をかけていただきました。
当たり前にしていた仕事が誰かの役に立っている。
その言葉を今でも時々思い出し、励みにしています。
（エバルス）

入社して半年。「今の段階でここまで理解できるのはすごい」と温かい言葉をかけてくださり、会社紹介を行った際には、涙が出そうになるほど褒めていただきました。いつも丁寧に教え、成長を温かく見守ってくださる先輩方に「ありがとう」と伝えたいです。
（メディパル保険サービス）

失敗した時、「何が反省点か」「今何をすべきか」を一緒に考え、導いてくださる上司の皆さん。その支えが前を向く力になっています。人を支えることを大切にする風土があり、そのやさしさに救われたからこそ、今度は私が誰かを支えられる人でありたいです。　（MP五協フード&ケミカル）

どんな状況であっても
「この国で、薬を届けるという使命。」
を全うしている
メディスケットの皆さん、
いつもありがとう。
（メディセオ）

2016年の熊本地震直後、農場の装置が故障したと連絡を受け、道路が寸断される中、なんとか翌朝に納品できました。10年以上たった今も「あのときは本当に助かった」と感謝の言葉をいただきます。お客様の危機を支えられた経験は、今でも大きな誇りです。　（MPアグロ）

父が余命宣告を受けた時、医師でもある上司に相談しました。父の病に気づけなかったことを悔やむ母に、「医師であっても家族の病気に気づくことはとても難しい。ご自分を責めないで」と言っていただき、母はやっと泣くことができました。あの時の感謝は、今も私の支えです。　（メディエ）

日本経済新聞社は創刊150周年を記念し、累計発行部数500万部の
人気絵本「ねずみくんの絵本」シリーズ（作・なかえよしを　絵・上野紀子／ポプラ社）との
特別広告企画「ねずみくんとわたしたち」を展開中。
長年にわたり世代を超えて愛されてきたねずみくんの物語。
その根底にある「思いやりは想像力」というメッセージとともに、日常の中にある誰かへの感謝や思いやりに目を向け、
その想いが人から人へとつながっていく様子を伝えていきます。

150th NIKKEI For a better world

特設サイトは
こちら▲

メディパルグループ

原作：「ねずみくんの絵本」シリーズ　© なかえよしを・上野紀子／ポプラ社　協力：株式会社ポプラ社　企画・制作：NIKKEIブランドスタジオ